

Ubuntu 対応版 Hinemos インストールマニュアル

1 はじめに

本マニュアルでは、Ubuntu 対応版 Hinemos のインストール手順と設定方法について説明します。

なお、基本的なインストール手順は Hinemos ver4.1 インストールマニュアル 第3版に沿っていますので、そちらをご参照ください。本マニュアルでは、Ubuntu 対応版 Hinemos に固有の情報についてのみ記載しています。

2 動作環境

Hinemos マネージャ動作 OS: Ubuntu 14.04 LTS (64bit)

Hinemos エージェント動作 OS: Ubuntu 14.04 LTS (64bit)

3 前提条件 (マネージャサーバ)

Ubuntu 対応版 Hinemos マネージャをインストールするサーバは、下記の OS パッケージが事前にインストールされていることが前提条件となります。

- openssh-server
- openjdk-7-jre-headless
- unzip

加えて、Hinemos の一括制御機能を利用する場合は、下記の OS パッケージが事前にインストールされていることが前提条件となります。

- expect
- krb5-clients

4 前提条件 (エージェントサーバ)

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントをインストールするサーバは、下記の OS パッケージが事前にインストールされていることが前提条件となります。

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless または openjdk-7-jre-headless
- unzip
- snmpd

5 Hinemos マネージャのサービス化

まず、下記のコマンドを実行して、サービス起動スクリプトを配置します。

```
# sudo cp /opt/hinemos/sbin/service/hinemos_manager /etc/init.d/
```

次に、下記のコマンドを実行して、OS 起動時に Hinemos マネージャが自動的に起動するよう設定します。

```
# sudo update-rc.d hinemos_manager defaults
```

6 Hinemos エージェントのサービス化

インストール時に、サービス起動スクリプトを自動的に配置するよう設定することが可能です。また、サービス起動スクリプトを自動的に配置した場合には、OS 起動時に自動的にサービスが起動するよう、併せて設定されます。

7 補足

7.1 エージェント側 OS の snmpd の設定について

Ubuntu 14.04 LTS の snmpd パッケージのデフォルトの設定では、外部からの SNMP 要求を待ち受けしない設定になっています。

・ /etc/snmp/snmpd.conf

```
～省略～  
# Listen for connections from the local system only  
agentAddress udp:127.0.0.1:161  
～省略～
```

ご利用の環境のセキュリティポリシーに従い、上記の箇所を適宜修正してください。

7.2 マネージャ側 OS の rsyslogd の設定について

Ubuntu 14.04 LTS の rsyslogd パッケージのデフォルトの設定では、rsyslogd の実行ユーザが「syslog」になっています。

syslog ユーザは特権ポート(TCP の 1023 番以下のポート)を bind できないため、この設定のままでは、514/TCP ポートで syslog メッセージを受信することができません。対処方法として、Ubuntu 対応版 Hinemos マネージャをインストールすることによって追加される設定ファイル(/etc/rsyslog_hinemos.conf)の下記の箇所を編集し、待ち受けポートを 1024 番以上に変更してください

•/etc/rsyslog_hinemos.conf

```
~省略~  
$InputTCPServerRun 514
```

併せて、監視対象ノード側の syslog 送信先ポートも、同じ番号に変更してください。下記は rsyslog の設定例です。

•/etc/rsyslog.conf

```
~省略~  
# Hinemos Agent 4.1.2 (for syslog monitoring)  
#  
*.info;mail.none;authpriv.none;cron.none @@{マネージャ IP}:514
```

なお、設定を変更した場合は rsyslog 等を再起動してください。

※どうしても TCP の 514 番ポートを使いたい場合

既存の環境に合わせるためなどの理由で TCP の 514 番ポートを使用する必要がある場合は、rsyslog の実行ユーザの設定(下記)を、特権ポートを bind できるユーザ (root、adm 等) に変更してください。

•/etc/rsyslog.conf

```
~省略~  
# Set the default permissions for all log files.  
$PrivDropToUser syslog
```

なお、上記のように実行ユーザを変更した場合、デフォルトの設定よりもセキュリティリスクが増加しますので、あらかじめご承知おきください。